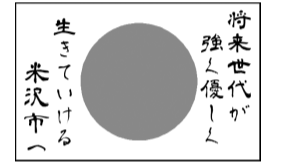




相田みつてる  
市政報告だより

平成27年初夏版  
発行者：相田光照  
米沢市塩井町塩野1670番地  
Tel&Fax：0238-21-4185・090-9637-1834  
光士新聞：http://yahoo.jp/box/LQj r2z  
FB：https://www.facebook.com/koshi kai



光士新聞  
相田光照市政報告書



facebook QRコード  
相田光照

**インターネットからも活動報告が見られます！**  
「紙面以外でも活動の様子が見てみたい」という要望がありましたので市政報告書「光士新聞」のバックナンバーと「フェイスブック」で日々の活動を掲載いたしております。閲覧方法は、インターネット「相田光照」を探していただく、簡単に日々の活動をご覧頂けます。是非、ご活用していただき、活動の様子をご覧ください！

# 二期連続トップ当選

## 米沢市政では一人目の快挙

統一地方選挙

### ▼感謝の二期目スタート

去る4月26日に行われた米沢市議会議員選挙において、私相田光照は皆様の心強いご支援と温かいご声援のお陰をもちまして、2349票という多くのご期待を頂き、またしてもトップという形で当選をさせていただきました。改めて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。ご期待を頂きました。私の中心的政策は、やはり人材育成であります。この政策に多くの有権者の皆様が賛同してくださり、一票という「貴重な意思」を投じていた



当選が決まり支援者から花束を頂く

相田光照市議会議員

(4月26日、光士会事務所)

議員生活も5年目。前回当選と大きく違うことは、しっかりとした『責任』が二期目の議員にはあるということです。新人議員だから許されていたことは、当然ながら今はありません。もちろん、それに甘んじるつもりもありませんでした。本市財政が窮迫している現在、当選させていただいた議員は、市民生活向上



へ向けて行動していかねければならない！そして、それができるかできないかを市民の皆様へ判断される『真価を問われる期間』だと、私自身は責任・使命と共に感じています。様々な議案において、決断と決意が迫られる場面が数多くあります。一度決めた判断を風見鶏の

**当選証書**  
右は米沢市において米沢市議会議員に当選したことを証明するためにここに当選証書と付与する  
平成27年4月28日  
米沢市選挙管理委員会  
委員長 小林 栄  
当選証書授与式と証書(4月28日、議会棟)

# 振り返る選挙戦

## 握手と脚と想いの丈を

戦いの本陣となる『光士会』事務所は、3月29日に県議会議員である後藤源様、恩師吉田美智子様、会員の皆様約70名をお迎えし、盛大に事務所開きを開催いたしました。ご先祖様のご加護とご報告の兼ね、仏式による事務所開きは、全国でも珍しいと思われまふ。この事務所は、同級生を中心とした青年局のメンバーが、二日間かけて設えてくれました。だからこそ、多くの方を温かくお迎えできる本陣だったと思います。

4月19日、選挙戦告知。塩野毘沙門天において、こちらにも仏式祈願祭。翌20日から25日まで、多くの人に想いを伝えるため、人に出会えば脚を使って走り、延べ1500人もの方と握手をさせていただきました。24日には、塩井小学校体育館を会場に約400人の支援者の方々と共に大会を開催。

25日の最終日。地元塩井神社にて、今度は神式による必勝祈願祭を行いました。あっといふ間の一週間でしたが、この期間中に鈴木昭一天童市議会議長、林英臣政経塾で同志である先崎温容福島県議会議員、渡邊勝幸宮城県議員、渡邊勝幸宮城県議員、渡邊勝幸宮城県議員を託して頂いた米沢市民の方々に、毎日のように足繁く来所してくれたこと、本当に心強く心の支えになりました。この選挙戦は、多くの方々に支えていただいたこと、先陣で汗をかいていただいた後援会『光士会』の皆さん、選挙中に思いを託していただいた皆さん、裏方で黒子を徹してくれた皆さん。それぞれ私に『夢』を託して頂いた米沢市民皆さんの想いは、しっかりと受け止めさせていただきました。そして、人と人との絆が私には数多くあることを、再認識させてくれた選挙戦でした。



事務所開きと選挙期間中の様子 (光士会事務所、街頭演説の様)

8 委員会所属

# 民生常任委員長就任

## 定数報酬委でも委員長、広報広聴委では情報部長

改選後、5月19日に臨時会を開会し、議長・副議長をはじめ、諸処委員会の所属が決定いたしました。私、相田光昭は、全議員で最も多い委員会と議会選出委員に決定し、責任を感じています。常任委員会では、3年目となる『民生常任委員会』で委員長を拝命することになりました。それに伴い、『民生委員推薦会委員』『米沢市社会福祉協議会理事』『山形県共同募金会米沢市支会理事』も兼務しています。民生委員会は、米沢市予算約350億円中、120億円の使途を預かる、謂わば「市民の生命・健康に直結する委員会」です。多岐にわたる政策に分かれており、それらすべてに精通している必要が、委員長にはあります。その基礎があつて初めて委員会采配ができることから、多くの勉強を重ね、市政向上へ寄与していきたいと考えています。



民生常任委員会の様子 (6月22日、委員会室)

また、議会進行を司る『議会運営委員会』と『予算』『決算』『市立病院建替検討』の3特別委員会で委員を。3年連続所属となる『議会だより編集委員会』と『議会広報広聴委員会』。広報広聴委では、新設された「情報部会」で部長の任をいただきました。この情報部会の大きな役割は、老若男女すべての世代に、より議会を知っていたり、実行していただく施策を

くことです。その手始めに、「議会ホームページ」の刷新と、全議員が各班に別れ全中学校へ出向く「中学校出前市議会」を行っていく予定です。今後内容については、ホームページや議会だよりに掲載していきたいと思っておりますので、ご確認いただければ幸いです。

そして、今会期で一番の大きな重要事項が「議員の定数と報酬」についてです。様々な市民アンケートなどからも注目があつたこの事案に対し、議長は諮問委員会として「議員定数・報酬検討委員会」を設置しました。その委員長に私が就任し、調査研究を重ねることになりました。

「議員は多すぎる！」「報酬に見合った活動をしていない！」との厳しい意見も、市民の中にはあります。その言葉は、真摯に受け止めるべきだと思います。ただ私は、闇雲に削減するだけではなく、この米沢市にとって最良の定数と報酬を、

実情に沿ったあらゆるデータと理論を重ね、市民意見を含めながら、平成29年3月定例会に上程すべく2年間にわたり深い議論をして、答えを導きたいと考えています。

# 新生「一新会」

## 過半数越える最大会派に

平成19年に結成された「一新会」は、2度の改選を迎えながら、今年で9年目を迎えました。そこには、想いを同じくする仲間達の結束力があつて出来得ることだと、我々は自負しています。私が初めて所属した4年前は、最大でも7名所属の会派でした。しかし今期は、13名という過半数を有する最大会派として、新たな出発を遂げました。当選9回から初当選の議員、最高齢74歳の先輩から27歳の若手後輩まで、老若男女様々視点から議論ができるという大きなメリットがあります。しかし、そこには大きな責任も存在すること、私たちが一人ひとりが自覚しなければならぬと感じています。過半数を有するということは、私たちが一枚岩になればどんな議案に対しても、可決にも否決にもできるということになります。つまり、いい加減な議論をしていけば、市民のためにはならないということになります。数の横暴と揶揄されることなく、謙虚に真摯に議論を進める会派としていきたいと思っております。



(前列左から) 島海副代表、島軒代表、海老名議長、(中列) 齋藤千恵子、成澤和音、佐藤忠次、山村明、工藤正雄、皆川真紀子 (最終列) 堤郁雄、相田光昭幹事長、中村圭介、鈴木藤英 各議員の計13名



### 議席番号はどうやって決めるの？

市民のみなさん！議会のことをどのくらいご存じですか？私もお恥ずかしい話、議員になって初めて知ったこと、理解したこと、目から鱗の事柄などなど。普通に生活していても、わからないことばかりです！

### 議席番号

米沢市議会には、24の議席があります。この議席は、どのように決まるのか知っていますか？実は、人数の多い会派から自由に選べるのです！つまり、最大会派から選択権を得るので、

米沢市議会の場合は、私の所属する会派「一新会」が最大会派なので、私たちが選べる。その後、次に大きい会派が、またその次へと、選択権が移って

いき議席が決定していきまします。ちょっと豆知識を。よく『右翼』『左翼』という言葉をよく聞くと、今号から皆様へお知らせしていきたいと思っております。議席に由来していることとはご存じでしたか？

「9」という数字は、どんなイメージだろうか？「9」は、「苦」を連想させるから不吉という方もおられると思う。何を隠そう、私も「9」に對するイメージは決して良いものではなかった。でも、今ではラッキーナンバーに近い好きな数字となったのである。▼みなさまに当選させていただいた2回の選挙。私は、この選挙を戦わせてもらって、「9」という数字に大きな意味を持つようになった。▼初当選の得票数は2999票、二期目の選挙が2349票であった。普通に見れば、何気ない数字かもしれない。しかし私は、2回とも最後の「9」で終わっている。▼前述したとおり、私は「苦」を想像させるこの数字は好きではなかった。その想いのままでいけば、当然得票した末尾の「9」は、苦しいものを表しているということになる。しかし、選挙の神様が与えてくれた最高「4」も好きである(笑)



「9」

▼みなさんは、数字にどのようなイメージを持っておられるだろうか？「ラッキー7」、語呂合わせの「1122(いい夫婦)」など、人は数字に興味を求めようとする。では、「9」という数字は、どんなイメージだろうか？「9」は、「苦」を連想させるから不吉という方もおられると思う。何を隠そう、私も「9」に對するイメージは決して良いものではなかった。でも、今ではラッキーナンバーに近い好きな数字となったのである。▼みなさまに当選させていただいた2回の選挙。私は、この選挙を戦わせてもらって、「9」という数字に大きな意味を持つようになった。▼初当選の得票数は2999票、二期目の選挙が2349票であった。普通に見れば、何気ない数字かもしれない。しかし私は、2回とも最後の「9」で終わっている。▼前述したとおり、私は「苦」を想像させるこの数字は好きではなかった。その想いのままでいけば、当然得票した末尾の「9」は、苦しいものを表しているということになる。しかし、選挙の神様が与えてくれた最高「4」も好きである(笑)